

仏国のメロックス工場で製造するMOX燃料の利用について

当社は、海外に所有するプルトニウムは原則として海外でMOX燃料に加工して利用することとしている^{※1}。

この海外に保有するプルトニウムの内、仏国に所有するプルトニウム^{※2}を使用して、仏国のメロックス工場でMOX燃料の製造を行う計画であり、今回製造するMOX燃料の利用については、以下のとおり計画している。

製造予定体数	利用場所	利用開始時期 ^{※3}
16 (体)	玄海原子力発電所3号機	2010年度(平成22年度)までの定期検査

※1 「平成19年度末までに六ヶ所再処理工場において回収するプルトニウムの利用計画」の中で公表。(平成19年2月23日)

※2 平成18年度末現在、核分裂性プルトニウムで約1.1トン(小数点第2位を四捨五入)を所有している。なお、プルトニウムの一部については、電源開発(株)大間原子力発電所に譲渡する可能性がある。

※3 MOX燃料の原子炉への装荷開始予定時期を記載。

以上